特定非営利活動法人 希望と輝きのまちひがしねを創造する

第47号 2023年6月

# クリエイトひがしねニュース

発行 NPO法人クリエイトひがしね 999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-1155 www.higashine.org 発行責任者 菊 地 和 博

みんなで一緒に歌いましょう

## 10周年を迎えて

あそびあランド
施設長 伊 勢 博

ひがしねあそびあランド誕生10周年を記念して、「川崎市子ども夢パーク」を舞台としたドキュメント映画「ゆめパのじかん」をフォーラム東根で上映することができました。ゲストに川崎市子ども夢パークの西野博之さん（元所長）を迎え、上映後のアフタートークも同時開催しました。

私が西野さんと初めてお会いしたのが12年前。あそびあランドをつくるため、全国各地の遊び場を視察したときに巡り合ったのが西野さんでした。「子どもの自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける」を信念に運営している夢パークの遊び場を見て感銘を受けたことを思い出します。その時の思いが、いまのあそびあランドに活かされています。

オープンから10年が過ぎ、プレイリーダーはもちろんのこと、遊びに来ていた子ども達も10歳年を取り、その成長ぶりに驚かされます。

あそびあランドで得た経験や人間関係が子ども達の進路に影響を与えているのも確かで、そうした意味ではプレイリーダーの役割がとても重要で、高い職能を求めらています。

自分の持っている能力を見つけ出し、仕事に活かすことで職能を高めることが出来、さらに職能を高めれば、必然的に社会貢献へとつながるのではないでしょうか。様々な視点で物事をとらえることも重要。私はこの映画を、自分のビデオ撮影・編集のスキルアップを念頭におきながら、試写会を含め５回見ています。映像で「なにをどう伝えられるか」撮影・編集・BGM・ナレーションなど様々な観点からとても参考になりました。

「あそびあランド」を通じて得られる機会や経験が多くの方々の様々な学びにつながることを願っています。

# ひがしねあそびあランド10周年記念

# 子どもも大人もあそぼうDAY!!開催

令和５年５月５日、ひがしねあそびあランドが10周年を迎え、その記念として「子どもも大人もあそぼうDAY！！」を開催しました。

当日は天候に恵まれ、たくさんの親子でにぎわいました。午前中は、10周年記念セレモニーをシェルターで子どもたちによる「子ども宣言」、来園親子と一緒にくす玉を引いてお祝いをしました。

その後、「みんなのステージ」と題して、子どもたちによる合唱やアンサンブル演奏、フラダンスで盛り上がりました。田んぼでは、10年前に開園イベントで行ったどろんこレースを再現、参加者はどろんこになりながら遊ぶ姿がたくさん見られました

また、村山教育事務所とのタイアップ事業として、北村山地域の高校生ボランティアサークルの方々が交流会も兼ねて、バルーンアートのプレゼントやネイチャービンゴを開催してくれました。さらに、高校生ボランティアサークル「ｎicoこえ」が、小児がんレモネードスタンドを行い、子どもたちに大人気でした。（高橋陽介）

ベーゴマ大会決勝！

楽楽クラブと昔あそび

いらっしゃいませ～　キッズフリマ

泥んこ大好き　田んぼで泥んこ・舟あそび

# 屋内子育3センターが一緒になりました

## けやきホール/子育て支援センター/ファミリーサポート・センター

令和５年４月から、けやきホールと子育て支援センターが一緒になり、けやきホール東側にはファミリーサポートセンターが移動しました。けやきホールの1階には、乳児から歩き始めるまでの「ねんね★ハイハイルーム」、2階には「おままごとルーム」が新設されました。ハード面だけではなくソフト面も充実させるために、あかちゃんの感覚や想像力を発達させる手作りおもちゃや木のおもちゃをたくさん用意しています。スタッフも試行錯誤しながら「遊びのしかけ」をつくっています。

また、子育ての不安を軽減できるよう、子どもと一緒にけやきホールで遊びながらの「子育て相談」もできます。″年齢制限のない遊び場″が大きな特徴であるけやきホール。あかちゃんから小中高生、そして高齢者まで幅広い年代が関わりあえる場所です。初めて会った子ども同士が、ずっと前から友達だったように遊んだり、思春期の子があかちゃんを抱っこしてあやしたりするなど、ここでしかできない素敵なかかわりを目にすることことができます。今回のリニューアルを機会に来館する方々がなお一層安心して過ごせるけやきホールとなるよう職員一同、力を結集して努力していきます。（渡辺友美）

新しくできたおままごとルーム

古新聞もりっぱなおもちゃです
けやきひろばinあかちゃんしゃべり場

未来のママ中学生があかちゃん・
小さい子とのふれあいタイム

## お役に立てれば

阿部浩介

このたび、クリエイトひがしねの理念や実際の活動に賛同して賛助会員に加えていただきました。

私が子どもの頃といえば、学校にいる時間に友人と約束をしてその帰りに外遊びや遊戯王カードをするのが日常でした。

時代は移り変わり今ではインターネットが発達し、様々な遊びや娯楽が溢れています。一方で少子化は大きな社会問題となっていて、出生数は予測よりも十一年前倒しで八〇万人を割りました。

国の未来を担う子ども達に何かできることはないかと考えていた時、あそびあランドやタントクルセンターはクリエイトひがしねが運営していて、他にも様々な自主事業をしていることを知りました。

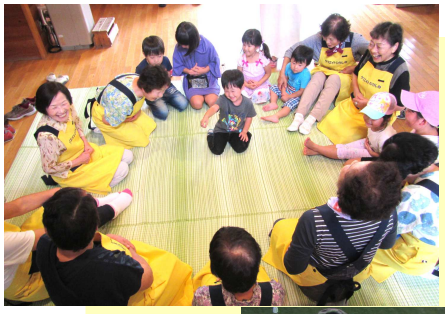
あそびあランドは子ども達に自然とのふれあいだけでなく自由と責任を学ぶ機会を与え、タントクルセンターは地域コミュニティの中心的な役割を果たしていると感じます。大人と子どもが共に育ち合う環境づくり、魅力ある地域づくりに微力ながら協力させて頂ければ幸いです。

新賛助会員の阿部さんに原稿をいただきました。自主事業のパワーアップに新風を期待しています。（斉藤）

# 楽楽クラブ再始動

　これまでコロナで活動が難しい時期が続きましたがそんなときでも楽楽クラブのメンバーが集まって、自分たちにできることを相談し活動してきました。

　毎年、役員を決める時にも「今年は私かな」と自らすすんで役員を引き受け、クラブをまとめてくれるのでおかげ様でみんなが楽しく活動できています。今年も自分たちが楽しみながら少しずつ活動を再開し、秋の「オレンジリボンフェスタ」参加にむけて、練習と準備をすすめています。（鈴木茂子）



輪になって
楽しいゲーム

輪なげのコツ
をおしえて
もらいました

# シニアパワー

## さすが年の功　老人クラブ

　あそびあランドにおける老人クラブとのつながりは「みんなで遊ぶべぇ」です。毎回、輪投げの用具を持ってきてくださるのですが、これが大人気。１歳の幼児から祖父母の皆さんまで誰でも楽しめるので、さっそく、輪投げ台を囲んでの家族間交流が始まります。

　その交流を盛り上げてくださるのが老人クラブの皆さんです。投げ方や点数の数え方を説明するだけでなく、見事に輪が入れば「すごい！」という称賛の言葉や、拍手を送ってくれます。その都度、笑顔の花が咲き、幸せに満ちた雰囲気に包まれます。人生のベテランである老人クラブの皆さんは、さすが、楽しい雰囲気づくりの名人です。(三浦通夫)

# ♪♪響けうたごえ！♪♪
# 輝け！けやきジュニア合唱団

練習風景

　けやきジュニア合唱団は、タントクルセンターオープンと同時に発足した合唱団です。現在の団員は５名で、あそびあランド10周年の舞台では高校生になった団員ＯＢも含めて合唱を披露しました。みなさんも仲間になって一緒に合唱を楽しみませんか。いっしょに歌う仲間を募集しています。各種イベントへの出演もあります。随時見学ＯＫ、お試しで練習に参加できます。まずは、見学、練習に参加してみよう♪

練習日：土曜日（月3回）
時　間：16時～17時30分
練習会場：東根公民館、タントクルセンターなど
会　費：月2,000円（兄弟割引一人1,500円）
制　服：貸与
連絡先：クリエイトひがしね事務局
　　さくらんぼタントクルセンター内
　　℡0237-43-0732（村山・結城）

## 編 集 後 記

★先日のある番組で、読み聞かせ絵本のお気に入り『八郎』が取り上げられた。八郎潟にまつわる秋田の民話で、百姓たちの田んぼを津波から守るために自ら身を沈めた山男八郎のお話だ。八郎は「わかった！おらがなしておっきくなりたかったか！おらはこうしておっきくなって、みんなのためになりたかったなだ、んでねが、わらしこ！」と叫んで海に沈んでいった。弱者を踏み台にしてのし上がっていく社会の風潮を諫めた文脈での引用であった。
★５月５日に10周年を迎えたあそびあランド。タントクルセンターも間もなく20周年を迎える。両施設で「遊育」に出逢い、巣立っていった「わらしこ」たちが、どこかで「おっきくおっきく」なっていることが楽しみな歳月である。（M）